

第52期

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株主資本等変動計算書

個 別 注 記 表

〔 自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日 〕

鹿 島 石 油 株 式 会 社

貸 借 対 照 表

(2019年 3月31日現在)

第5 2期

鹿島石油株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
資 産 の 部	126,731	負 債 の 部	78,676
流 動 資 産	(33,620)	流 動 負 債	(53,265)
現 金 預 金	9	短 期 借 入 金	18,567
売 掛 金	4,256	リ ー ス 債 務	11
貯 蔵 品	2,708	未 払 金	32,909
前 払 費 用	55	未 払 法 人 税 等	53
未 収 入 金	25,871	未 払 消 費 税 等	516
短 期 貸 付 金	644	未 払 費 用	124
そ の 他 流 動 資 産	73	預 り 金	82
		賞 与 引 当 金	550
		そ の 他 流 動 負 債	450
固 定 資 産	(93,111)	固 定 負 債	(25,411)
有 形 固 定 資 産	[80,533]	長 期 借 入 金	15,000
建 物 ・ 構 築 物	16,519	リ ー ス 債 務	23
油 槽	4,279	再 評 価 に 係 る	
機 械 装 置	10,448	繰 延 税 金 負 債	4,207
船 舶 ・ 車 両 運 搬 具	53	退 職 給 付 引 当 金	4
工 具 器 具 備 品	766	役 員 退 職 引 当 金	35
土 地	47,908	修 繕 引 当 金	6,073
リ ー ス 資 産	34	環 境 対 策 工 事 引 当 金	65
建 設 仮 勘 定	523		
無 形 固 定 資 産	[7,779]	純 資 産 の 部	48,055
特 許 権	22	株 主 資 本	(38,595)
ソ フ ト ウ ェ ア	30	資 本 金	[20,000]
施 設 利 用 権	7,726	資 本 剰 余 金	[197]
投 資 そ の 他 の 資 産	[4,797]	資 本 準 備 金	197
投 資 有 価 証 券	191	利 益 剰 余 金	[18,398]
関 係 会 社 株 式	1,381	利 益 準 備 金	1,995
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	44	そ の 他 利 益 剰 余 金	16,403
長 期 前 払 費 用	631	繰 越 利 益 剰 余 金	16,403
繰 延 税 金 資 産	2,751		
そ の 他 投 資	302	評 価 ・ 換 算 差 額 等	(9,459)
貸 倒 引 当 金	△ 505	土 地 再 評 価 差 額 金	[9,459]
資 産 合 計	126,731	負 債 お よ び 純 資 産 合 計	126,731

損 益 計 算 書

〔 自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日 〕

第52期

鹿島石油株式会社

	百万円	百万円
売 上 高		39,012
売 上 原 価		36,942
売 上 総 利 益		2,069
販売費および一般管理費		758
営 業 利 益		1,311
営 業 外 収 益		
受取利息および配当金	21	
雑 収 入	295	316
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	229	
雑 損 失	395	624
経 常 利 益		1,003
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	3	
減 損 損 失	82	85
税 引 前 当 期 純 利 益		917
法人税、住民税および事業税		11
法 人 税 等 調 整 額		298
当 期 純 利 益		606

株主資本等変動計算書

第52期 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日)

鹿島石油株式会社

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
				繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当 期 首 残 高	百万円 20,000	百万円 197	百万円 1,895	百万円 16,896	百万円 18,791	百万円 38,988
当 期 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当			100	△1,100	△1,000	△ 1,000
当 期 純 利 益				606	606	606
当 期 変 動 額 合 計	—	—	100	△493	△393	△393
当 期 末 残 高	20,000	197	1,995	16,403	18,398	38,595

	評価・換算差額等	純資産合計
	土地再評価 差 額 金	
当 期 首 残 高	百万円 9,459	百万円 48,448
当 期 変 動 額		
剰 余 金 の 配 当		△1,000
当 期 純 利 益		606
当 期 変 動 額 合 計	—	△393
当 期 末 残 高	9,459	48,055

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準および評価方法

ア. 子会社株式および関連会社株式 移動平均法による原価法を採用しております。

イ. その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。

② 棚卸資産の評価基準および評価方法

評価基準は収益性の低下による簿価切下げの方法、評価方法は移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

(リース資産を除く)

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(リース資産を除く)

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

③ 退職給付引当金

既退職者への年金支給に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

④ 役員退職引当金

役員に対する退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

⑤ 修繕引当金

将来の修繕費用の支出に備えるため、消防法により定期開放点検が義務づけられた油槽に係る点検修理費用および製油所の機械装置に係る定期修理費用について、当該修理等の支出見込額のうち当期迄に対応する額を計上しております。

⑥ 環境対策工事引当金

過去の操業に起因する環境対策工事の支出に備えるため、今後発生すると見込まれる損失について、合理的に見積もられる金額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

2. 表示方法の変更に関する注記

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 232,212 百万円

(2) 国庫等補助金による圧縮記帳額

建物・構築物	915 百万円
機械装置	51 百万円
計	966 百万円

(3) 関係会社に対する金銭債権および金銭債務

①金銭債権

短期金銭債権 28,370 百万円

②金銭債務

短期金銭債務 2,763 百万円

(4) 担保に供している資産および担保に係る債務

①担保提供資産

建物・構築物	5,704 百万円
油槽	1,162 百万円
機械装置	39 百万円
船舶・車両運搬具	0 百万円
工具器具備品	3 百万円
土地	46,968 百万円
計	53,879 百万円

②上記に対応する債務

未払金 11,528 百万円

(5) 土地の再評価に関する法律に基づき、事業用土地の再評価を実施しており、土地再評価差額から土地再評価にかかる繰延税金負債を控除した金額を土地再評価差額金として純資産の部に計上しております。

①再評価実施日

2000年3月31日および2001年12月31日

なお、2001年12月31日は被合併法人（株式会社ペトカ）における再評価実施日であります。

②再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令第2条第4号に定める地価税法（平成3年法律第69号）第16条に規定する地価税の課税価格の計算の基礎となる土地の価額を算定するために国税庁長官が定めて公表した方法により算定した価額に合理的な調整を行って算定しております。

なお、当該事業用土地の2019年3月31日における時価の合計額は再評価後の帳簿価額の合計額を14,205百万円下回っております。

また、土地再評価差額金9,459百万円は、土地の再評価に関する法律第7条の2第1項の規定により、配当に充当する事が制限されております。

4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

(1) 営業取引	
①売上高	35,768 百万円
②仕入高	18,888 百万円
③一般管理費	403 百万円
(2) 営業取引以外の取引	110 百万円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の数	
普通株式	40,000 千株

(2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

2018年 6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①配当金の総額	1,000 百万円
②配当の原資	利益剰余金
③1株当たり配当額	25 円
④基準日	2018年 3月31日
⑤効力発生日	2018年 6月29日

(3) 当事業年度末後に行う剰余金の配当に関する事項

2019年 6月27日開催の定時株主総会において、次の議案を付議する予定です。

①配当金の総額	1,000 百万円
②配当の原資	利益剰余金
③1株当たり配当額	25 円
④基準日	2019年 3月31日
⑤効力発生日	2019年 6月28日

6. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
賞与引当金	163 百万円
減価償却超過額	61 百万円
修繕引当金	1,711 百万円
その他	1,481 百万円
繰延税金資産小計	3,418 百万円
評価性引当額	△ 667 百万円
繰延税金資産合計	2,751 百万円

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、設備投資計画等に照らして、JXファイナンス（株）からの借入により資金を調達しております。

借入金の使途は設備投資資金（長期）であります。

未収入金、未払金については、主に親会社であるJXTGエネルギー（株）からの石油精製受託に伴う揮発油税に係るものであり、揮発油税の納付日に決済されております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額(*1)	時 価(*1)	差 額
①未収入金	25,871	25,871	—
②短期借入金	(2,067)	(2,067)	—
③未払金	(32,909)	(32,909)	—
④長期借入金(*2)	(31,500)	(31,789)	289

(*1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2) 1年以内返済の長期借入金は、「長期借入金」に含めて表示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方式

①未収入金

未収入金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

②短期借入金および③未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

④長期借入金

長期借入金の時価は、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	JXTGエネルギー(株)	被所有 直接72.2%	精製受託	精製受託等の役務の提供(*1)	百万円 35,768	売掛金	百万円 4,002
				債務被保証(*2)	33,567	—	—
				揮発油税等の立替(*3)	58,687	未収入金	24,335
				用役の購入(*4)	3,805	未払金	485
関連会社	鹿島北共同発電(株)	所有 直接22.0%	用役購入	用役の購入(*5)	9,062	未払金	693
親会社の子会社	JXエンジニアリング(株)	なし	設備工事	設備工事の発注(*6)	2,338	未払金	2,380
親会社の子会社	鹿島アロマティックス(株)	なし	運転業務の受託	用役の提供(*7)	74	未収入金	19
親会社の子会社	JXファイナンス(株)	なし	資金の借入および貸付	資金の借入(*8)	858	短期借入金	18,567
				利息の支払(*9)	229	—	—
						長期借入金	15,000

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件および取引条件の決定方針等

- (*1) 石油精製受委託契約を締結しており、受託精製料は精製コストを勘案し協議により決定しております。
- (*2) 借入に対して債務保証を受けております。なお、保証料の支払は行っておりません。
- (*3) 揮発油税法上、揮発油の製造者がその製造場から移出した揮発油につき揮発油税等を納める義務があるため、当社は揮発油税等の立替を行っております。
- (*4) 蒸気を購入しており、取引価格は実燃料コストおよび諸経費を勘案して決定しております。
- (*5) 電気と蒸気を購入しており、取引価格は実燃料コストおよび諸経費を勘案して決定しております。
- (*6) 設備工事取引については、一般取引条件と同様に決定しております。
- (*7) 業務受委託契約を締結しており、石油化学製品製造設備の操作を受託しており、受託料は製造コストを勘案して協議により決定しております。
- (*8) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。当社は運転資金の借入を行うとともに、運転資金の状況により、日々借入金の返済をしております。よって、取引金額については借入と返済をネット表示しております。
- (*9) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

9. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	1,201 円 37 銭
(2) 1株当たり当期純利益	15 円 16 銭

10. その他の注記

百万円未満を切り捨てて表示しております。

第 5 2 期 計 算 書 類 に 係 る 附 属 明 細 書

自 2 0 1 8 年 4 月 1 日

至 2 0 1 9 年 3 月 3 1 日

鹿 島 石 油 株 式 会 社

計 算 書 類 に 係 る 附 属 明 細 書

(会社法第435条第2項による附属明細書)

目 次

	頁
1. 有形固定資産及び無形固定資産（投資その他の資産に計上された償却費の生ずるものを含む。）の明細	1
2. 引当金の明細	2
3. 販売費及び一般管理費の明細	2

(本附属明細書中の記載金額は表示単位未満を切り捨てております。)

1. 有形固定資産及び無形固定資産（投資その他の資産に計上された償却費の生ずるものを含む。）の明細

区 分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価	摘 要
有形固定資産		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	建 物 ・ 構 築 物	17,047	1,016	82 (82)	1,463	16,519	51,831	68,350	(1) 有形固定資産の当期増加の内、主なもの ・建物・構築物
	油 槽	4,480	367	0	568	4,279	45,726	50,006	構内配管 受入れ貯油設備 255
	機 械 装 置	8,301	4,763	51	2,565	10,448	131,523	141,972	プロセス配管 L P G 調合設備 73
	船舶・車両運搬具	57	28	0	33	53	283	336	海上出荷配管設備 正味出荷設備 208
	工 具 器 具 備 品	902	95	0	231	766	2,792	3,558	・油 槽
	土 地	47,908	—	—	—	47,908	—	47,908	T K - 2 9 2 (原油タンク) 141
	リ ー ス 資 産	46	—	—	11	34	57	92	・機械装置
建 設 仮 勘 定	1,339	6,430	7,246	—	523	—	523	搭槽類 蒸留塔 第1常圧蒸留装置 726	
	計	80,084	12,700	7,379 (82)	4,870	80,533	232,212	312,746	ボイラー C O ボイラー 654
無形固定資産	特 許 権	26	—	—	3	22	155	177	構内配管 受入れ貯油設備 133
	ソ フ ト ウ ェ ア	54	11	—	35	30	1,135	1,166	構内配管 原油貯油設備 125
	施 設 利 用 権	9,993	—	—	2,267	7,726	55,719	63,446	
	計	10,073	11	—	2,305	7,779	57,009	64,789	
投資その他の資産	長 期 前 払 費 用	240	1,868	—	1,476	631	9,451	10,083	

(注) 「当期減少額欄」の()内は内書きで、減損損失の計上額であります。

2. 引当金の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
貸倒引当金	505	—	—	505
賞与引当金	584	550	584	550
退職給付引当金	9	—	4	4
役員退職引当金	22	12	—	35
修繕引当金	8,626	8,478	11,031	6,073
環境対策工事引当金	—	65	—	65

3. 販売費及び一般管理費の明細

科 目	金 額	摘 要
	百万円	
役員報酬	79	
役員賞与	16	
役員退職引当金繰入額	12	
法定福利費	7	
業務委託費	435	
賃借料	2	
交際費	9	
租税公課	120	
その他	78	
合 計	758	